

仙人通信 189 栃木・三峰山(605m)

三峰山は、栃木 IC から足尾に向かう県道 32 号線の星野地区の西側に鍋を伏せた様な形をした 3 等三角点の山で、星野のセツブンソウで有名な自生地の上に座す山である。

星野のバス停の先にある御嶽(おんたけ)山神社の駐車場に車を置き、境内から清滝不動→普寛霊神の社→奥の院から創ヶ峯・権現山等の尾根を経て三峰山へ向かい、下山するコースを辿る事とした。

駐車場を登山で利用する者は、社務所にあるノートに氏名等を記入するよう指示されている事から記帳を済ませ、里宮の鳥居から登山道のある祖霊殿まで階段を 5 分程登る。杉林の中の登山道は、2 日間の雨の後でもあり杉の落葉や土が濡み、足元が不安定である。コースは徐々に沢筋となり、10 分程で 3 m 程の落差の清滝と清滝不動尊である。更に 15 分程で普寛霊神の社だ。ここからは自然石の急な階段となる。100 以上も並ぶ小さな石の祠を横目に、杉の根やトラロープを頼り登る事 10 分程で御岳大社大岩戸である。コースは尾根を廻り、北側にある沢頭に向い進む。尾根を境に落葉樹林となり、星野集落の先に表日光の山脈だが 10 分程で再度杉林の中だ。三山参道の標識のある尾根に 20 分程で到着し、右手にある奥の院に向かう。尾根の西面は落葉樹林で坂東 33 霊場の雨引観音で有名な出水町が望める。10 分程下がった地点に天之御中主尊を中心に 3 体の神の立像を祀った奥の院だ。東側の展望が利くも、狭い場所である。先程の分岐まで戻った後は、三山参道と書かれたコースだが尾根に近い杉林の中だ！！最初のピークを過ぎた頃から右手にトラロープが張られ、その奥に 1.5m 程の鉄網のフェンスが設けられ、立入禁止の標識だ。フェンスから西側一帯は、削り取られた石灰岩の採石場である。奥の院から 25 分程進むと突然ヘルメットを付けた人が現れ、発破をするので 10 分程ここに留まる様に指示された。サイレンが鳴り響き轟音の基に噴煙が上がるのを眺めた後、通行許可が出された。創ヶ峯を過ぎ 10 分程で八坂様入口の標識である。コースに張られたトラロープを頼りに権現山をへて、下山標識のあるポイントへ辿り着く。杉林の中を 30 分程登り詰めると三等三角点の三峰山の山頂(杉林の中)であるが、西側にはフェンスがあり数名がやっと憩える広さだ。フェンス越しではあるが、碎石場の先には白く雪化粧した白根山等の奥日光の山脈が、手前に皇海山等や横根山等の山脈が展開してくれていた。ほぼ 20 分で先程の分岐に戻り、沢に沿った急斜面を俱利伽羅不動尊・浅間大社そして鍾乳洞への分岐をへて 30 分程で林道に出、更に 10 分程で駐車場に戻った約 4 時間(15000 歩)の杉林中心の山旅でした。満開のセツブンソウの花に再会し、緊張していた心に安らぎを貰いました。(h 31.3. 5)

奥の院の立像

碎石場

三峰山山頂

セツブンソウ

